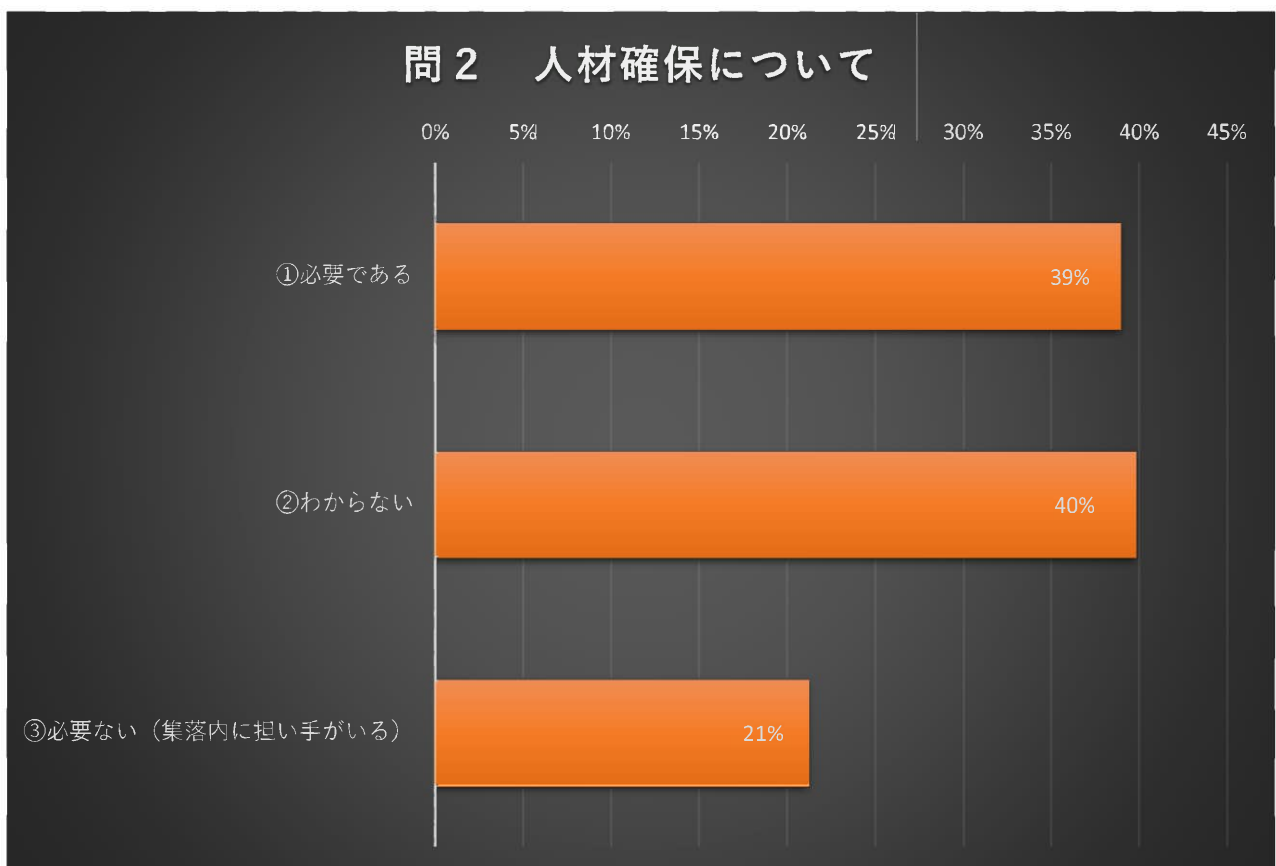
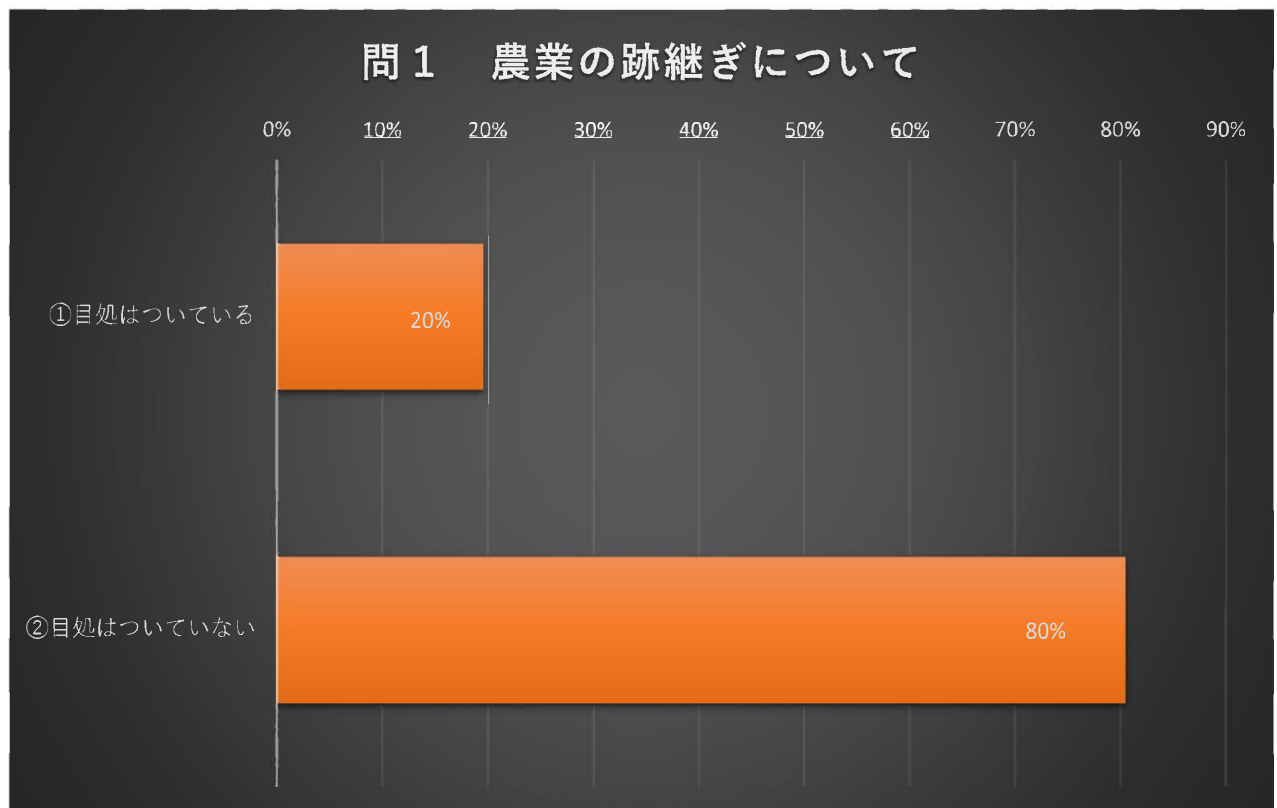
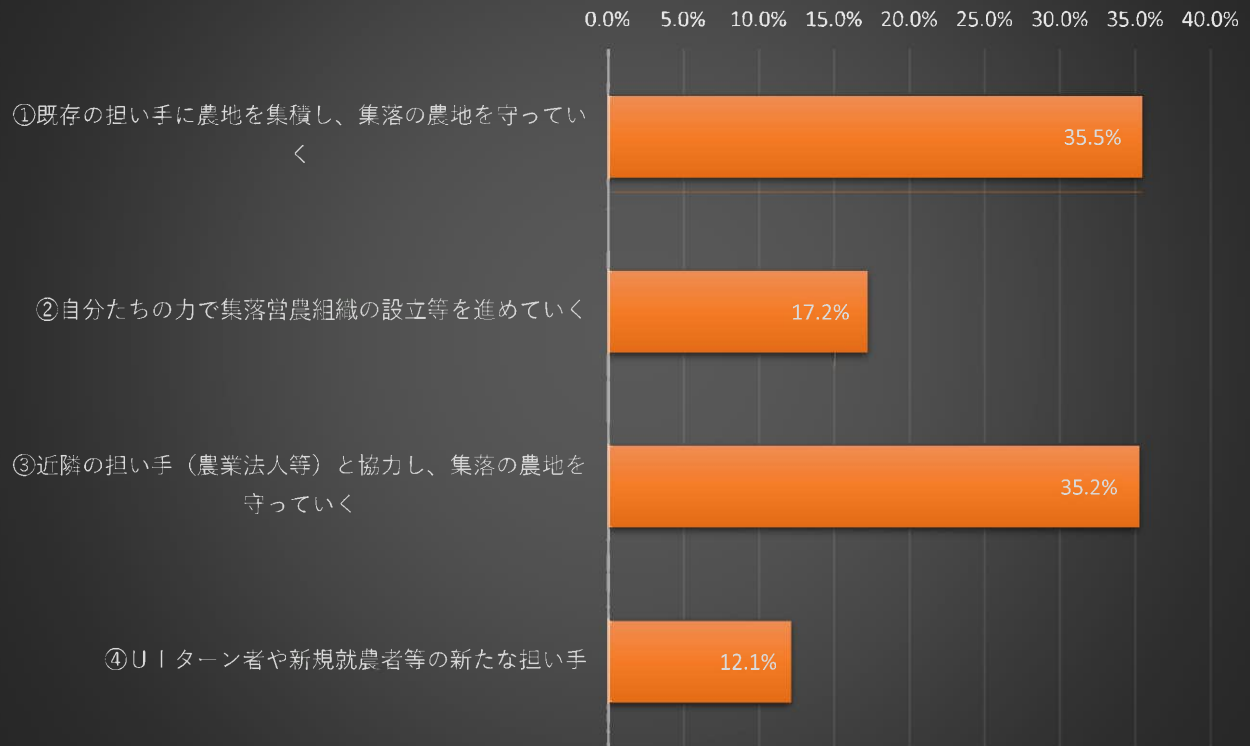


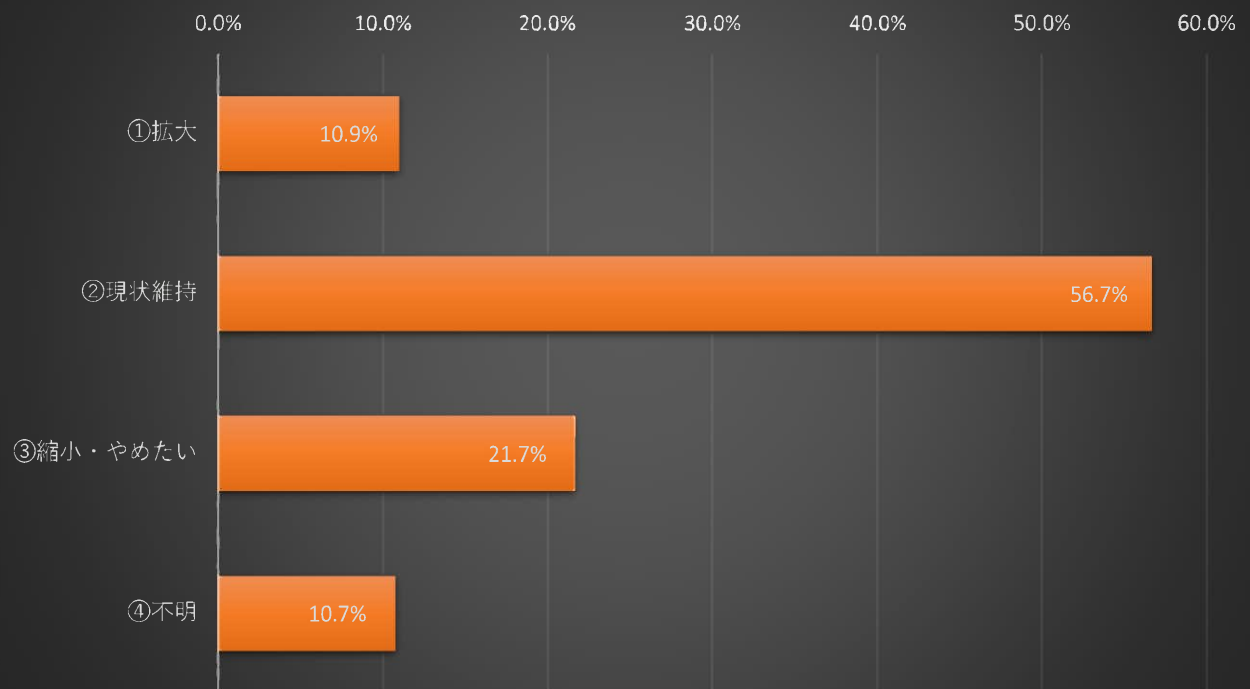
地域農業の将来に関するアンケート(全体)



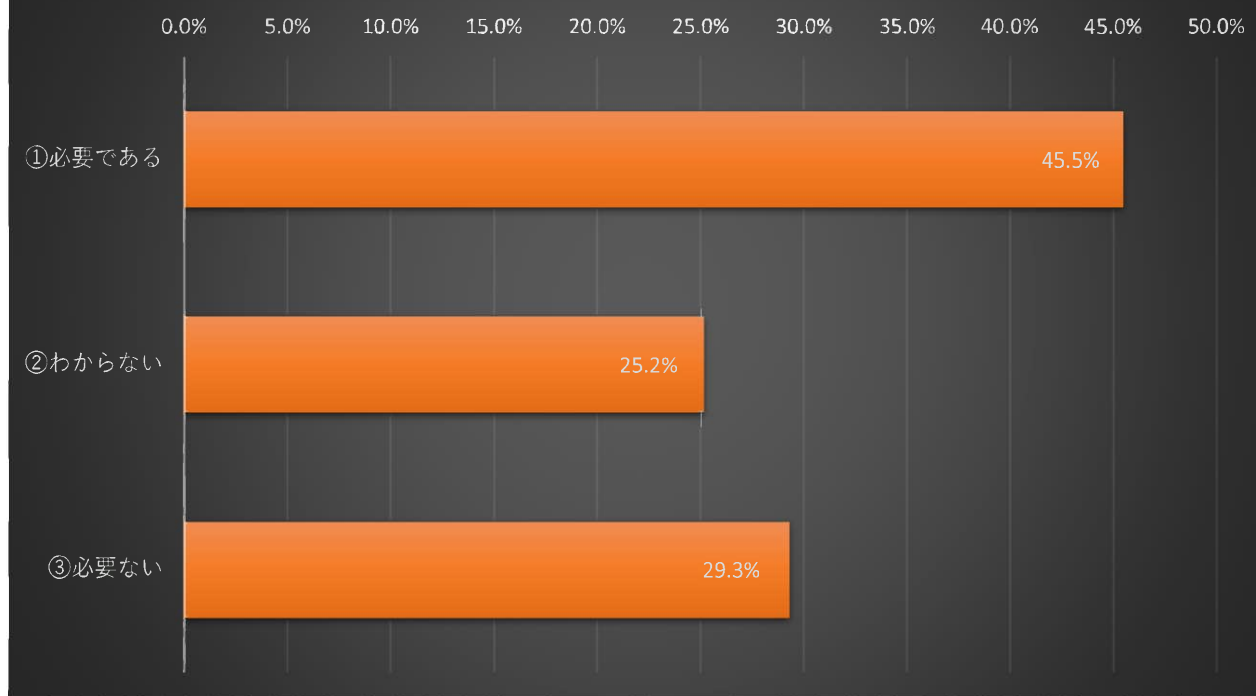
問3 今後の考え



問4 作付意向について

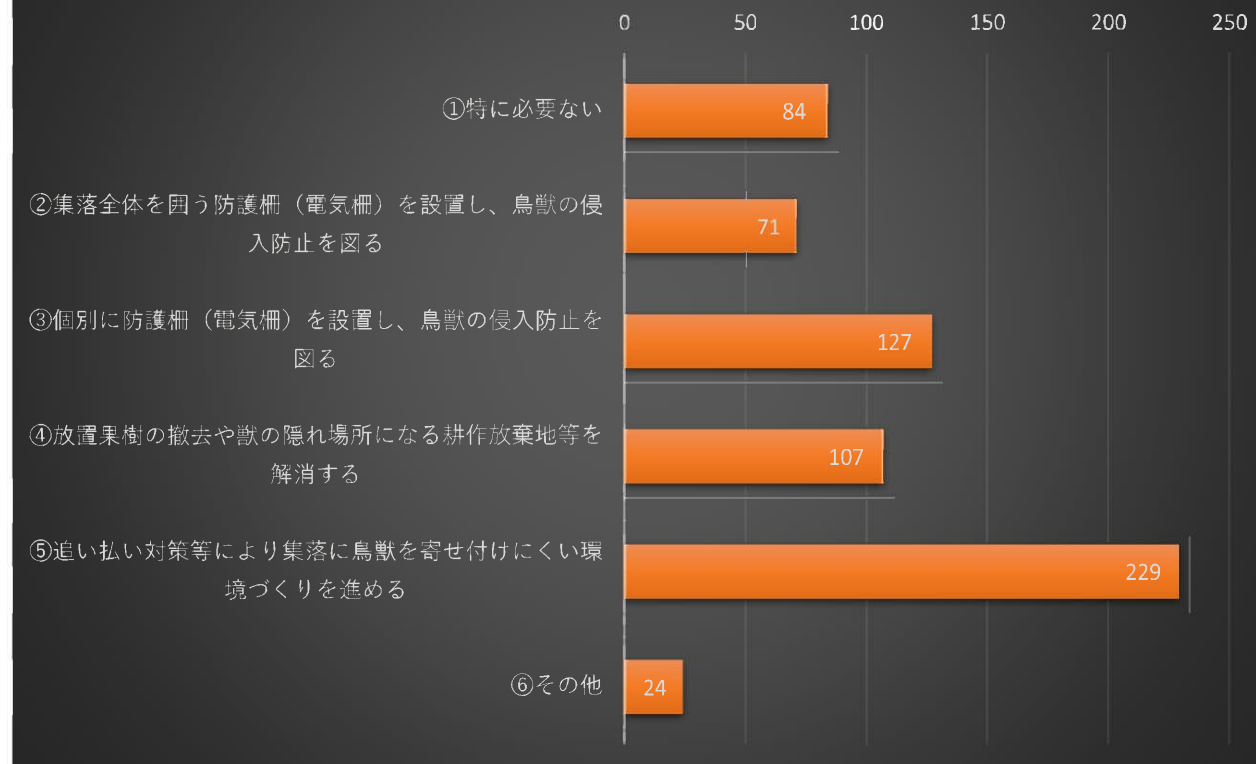


問5 基盤整備の必要性



問6 鳥獣被害防止策

複数回答（回答件数）



問 6 鳥獣被害防止対策 その他回答欄

- ・捕獲わなの設置
- ・村で考えて欲しい
- ・徹底駆除
- ・カラス、ハクビシン、猿他を捕獲してもらいたい。
- ・駆除を行う
- ・ハンターに頼んで山へ追っ払ってもらう
- ・集落に鳥獣を寄せ付けにくい環境づくりを進める←森林機能の向上により、
- ・森林整備
- ・現在は不要であるが、今後の対策として考える。
- ・現在、被害があるのか無いのかわからない。
- ・限定的な共生
- ・駆除、捕獲しなければ解消しないと思います。
- ・現時点では有効な方法が思いつかない。
- ・猿は保護をやめて駆除する。(増えすぎ)
- ・策なし
- ・行政主導の対策も必要と思う。まず調査を！！
- ・現状、鳥以外侵入は少ないが今後対策が必要と思える
- ・駆除
- ・鳥獣被害を受けにくい作物の作付、猟友会への駆除依頼他
- ・集落被害防止対策調査中と実施対策調査中
- ・捕獲等で頭数を減らす。
- ・カラス、ハクビシン、猿他を捕獲してもらいたい。
- ・駆除を行う

自由意見

- ・これからの農業をする中でもっと色々なことを話し合える場、聞ける場があれば…
- ・先を行動し、若い農業者にバトンを渡すこと。
- ・圃場整備の実施をお願いします。
- ・集落や地域としても、現状維持が困難になってきている。(後継者や担い手の不足)
- ・下関地区でもできるだけ早く圃場整備されることを希望します。
- ・圃場整備の実施
- ・基盤整備が出来るだけ早く進むよう、最大限の協力をお願いします。
- ・基盤整備を早急に着手し、農業者の負担を軽減し効率のよい営農にすることが必要不可欠であると考えます。
- ・田んぼが少ないため、他の人にずーっとやって欲しい。
- ・圃場整備後、田植えを手で植えることとなった。元の水田に戻して欲しい。機械が深くて入れない。

・田んぼを所有しているということで、アンケート調査のお願いが来たのだと思いますが、実際自分では何もしてなく農業の知識も全くなく、アンケートの内容的に答える資格はないと思います。もし少ないながらも今農業をやっていると仮定した考え方ですので、調査対象から外してもらって結構です。今回のアンケート調査は、農地を耕作しているいわゆる農業者が対象で、私みたいな人を対象にした、別な内容の調査を是非お願いします。

というのは、今年から小作契約した中で、小作料がゼロで土地改良費は自分持ちです。5年10年後には、このままだと全てこのようになると思うと、大変心配になります。耕作放棄地を、自分で毎年除草などの維持管理が大変なため仕方なく契約しました。これから先、固定資産税と土地改良費を払い続け、耕作放棄地の管理だけをしてゆくことになるのでしょうか？良い方法があったら教えてください。農地中間管理機構がありますが、村内でこの取り組みがうまくいっているか、状況を教えてください。

人口減少と過疎高齢化が確実に進む中、趣味で農業をしている人を除いて、進むべき方向ははっきりしていると思います。これまでは小規模農家への保護政策により耕作するだけでお金が入ってきましたが、これからはもうかる大規模農家として、農業と流通・加工そして飲食との連携が農業経営者として必要だと思います。

- ・農地整備、大型機械の導入、IT技術の活用等で生産効率の向上を図ることで、若い担い手を育成する。
- ・異常気象に対応できるよう、多品目、多品種の農作物の生産を目指す。

・作付農家の高齢化による、耕作委託が進むことになるので、集落内の担い手が活動しやすい環境作り(対話の場や集落としての相談窓口など)が必要となってくるのではと思います。

・今現在、農地(米作り)を貸している人は、今後、米作りをする人はほとんどいないと思います。これからは、基盤整備が進むと思います。そうすると農地を貸している人は土地改良費、固定資産税等の莫大な経費を支払っていかねばなりません。そのような農地を国、県、市町村で買い上げ米作り農家のみなさんにあげて米を作ってもらえば良いと思います。

・田んぼは委託していますが、基盤整備、パイプ用水を進め作業しやすい圃場にしてもらいたい。新規就農につながる補助や村の特産品を決め、交付金を与えるなど。

・勝蔵集落は昔は(10年くらい前)15～16件の農家がありました。現在は6件しかありません。10年後のことを考えたら何件の農家が残っているのか？農業だけで生活するには大規模農家にしなければなりません。設備投資等で支援が必要です。

・村内の農家を1つの集合体に組織変更し、年間を通し生産加工を営むことにより人材の確保、農地の有効活用、所有者の不安解消、各生産部門並びに生産加工品の販路開拓が確保できれば、グローバルな海外展開が可能となり、現在の状態より数段経済的及びライフスタイルの向上にもなり、現在問題となっていることが一気に解決されるのではないかな。

・農業者の高齢化と担い手不足により農業のみでは生活できない。内須川では自然と原野になっていくと思う。現時点では止めることは出来ない。

・少しずつ稲作経営をやめていく人が出てきているが、現在は集落内で受けてくれる人が居るため、大きな問題となっていない。

・今後はドローンによる共同防除を進めてもらいたい。

・猪の被害がでてきており、山際の田の条件整備を進めてもらいたい。

・人農地プランにのっている経営体がもっと多くの農地を集積してもらいたい。(担い手も含む)

・道路整備を。山ヒルが増えてきている。

・田のひらの雑木が大きくなって、日当たりが悪くなってきている。

・河川から田へ水を引く水路でU字溝の破損と河川の堰が壊れかけているので、何とかしてもらいたい。今現在の堰は川の横に木をあて、水を止めて水路に流す状況です。水害後のやり方です。大水が来ると壊れたりします。よろしくお願いします。

- ・集落内の担い手がしやすい方向付け対策が必要。
- ・鳥獣対策を実施すべき。他市町村に比べ関川村は遅いように思われる。まずやってみる事。
- ・鳥獣に影響のない作物の栽培を考慮する方法を検討すべき。
- ・温暖化に伴う、食料難等、輸入用難等、緊急事態のことも考えると土地手放しも？

・農業計画にやる気のある人を村が中心となって人を集め、営業組織を作って欲しい。集落単位では難しい。(色々な問題が発生する。)

- ・歙江沢の浦山の農地基盤整備がなされるといいな～いつも思っています。
- ・関川米のブランド化等、農業所得の向上に繋がる施策が必要だと考えます。
- ・早急に基盤整備等を実施し、効率化を図る必要があると考える。

・問5の回答について補足

基盤整備には地権者全員の同意と合意が不可欠であるが、計画先行でその為の討議がなされていない。担い手に農地が集積された後、地権者には米作の収入はなくなるが、多額の借入金償還が発生する。その目処がたたず生活が不安定になるから。

・集落内に担い手は3人居るが、今後10年以内に5人以上になるように農政のあり方を改善し、協力できることをやりながら維持していきたい。

・集落において、農業の維持発展の為に集落営農組織、農業法人の設立と農地基盤整備が必要と思う。

- ・あまった野菜や作りすぎた野菜を売の場所があると良いと思う。
- ・農家も関川村も、一歩先のことを考える時になっていると思う。
- ・用水の老朽化、細かい田んぼ等面積拡大したくても作業効率が悪くできない。基盤整備等他の事業、村からも積極的に進めてもらいたい。

・認定農業者に加入していますが、年会費だけ払って何も無いと思うのですが。

・圃場整備(基盤整備について)

当集落で農業に携わっている中心的な年代は70歳代くらいであるように思われる。現状に満足しているわけではなく、将来的には大規模規格の圃場整備が必要と思われるが、次の世代に負担を背負わすことを考えると、今積極的に取り組む気持ちになれない。

・作業効率等々考えると、圃場整備はこれからの農業のあり方で是非進めて欲しい。

・現在は私を含めて周囲の皆さんも集落の農業に対しての先のことを考えていないが、農業従事者のほとんどが高齢代におり後継者もいないのが現状である。圃場整備や集落営農組織の結成等、近隣の担い手との協力を考えていかなければならないと思う。

・圃場整備、基盤整備の推進に行政の積極的な助言をしてもらう事できないかな～！

・農業法人、他の法人に対する補助金の増額(機械や従業員の賃金に対する大幅な補助金)

・農作物に関しては土地を維持していくためにも必要ではないかと考えます。基礎的知識も少ないため、経済的、戦略的、効果的に持続できるようにAさんとも協力し体制を整えていってもいいと思います。

・村全体となり、組織を作り国の制度を利用し立ち上げていった方がいいと思う。

・圃場整備を早めに進めて欲しい。

・当分現状維持で行きたい。

- ・1.担い手育成化
- 2.農地の集約化
- 3.6次産業化

・年金生活者で農業をやる。

・どの家庭を見ても後継者が居ない。若者の数が激減している。今頑張っている人も、5年後10年後には今のままでいれるか心配。地域の農地は地域で守っていけたら最高です。若い後継者をバックアップする体制が重要だと思う。若い年代の方々とどう村に残し、どう育てるか知識を出し合わないと村の将来が危うい。

・高齢化にともなう耕作放棄地などの有効活用方法などを、村の産業振興の為にイベントなどを計画検討して欲しいです。

・個人で継続していくにも限界がある。農機具の入替えや作業負担等、他集落の担い手や農業法人に作業委託依頼しても条件が合わず、結局耕作放棄となる。村が農業法人を立ち上げ、代わりに作ってくれないか…格安で。また、ふるさと納税の返礼品でコシヒカリやこがねもちを大幅に使用し、各農家から安定した高値で買い取りして欲しい。一部の農家(法人)だけはダメ！希望を取ることは可。

・関川村は山菜の宝庫とも言われるのに、山菜の出回りがあまり目立たない。休耕地に山菜を植え(わらび、ウワバミ草、フキ→春はフキノトウ等)手間のかからない自然体の山菜栽培、また加工して販売する組織作業

・山間地農業は大切ですので(環境面、食料自給面)農政は重視して欲しいし、私たちも働きかけをして、地域が良くなるようにしていきたい。村と情報共有しながら！

・集落での水稲の決め事などありますが、ほとんど高齢者なので後継者がいないとこは本当草刈などどうするのか。大変ですよね。

・なんとか守って行きたい

・私のように高齢になると田は人任せです。荒れてゆくのは目の前です。今は貸しているのも全く話にならない程の安さです。やめれば荒れるし全く切ないです。何とかありませんでしょうか。

・専業農家での全般での生活が困難で経営が難しい。(農機具が高い)労力が不足しているので機械等での代替等難しい。人間と協同共栄という言葉はあるが、人間が負けている。そうでなければお金を出して購入する手法を取り入れる。農業の拡大を望むが難しく、縮小するが放置になり難しい。

・資源、環境を有効活用し利益を生み出す組織作り、小グループの活動を立ち上げ展開し、有効性ある大きなグループ作りへと進める。特化したものを生み出すこともあるのでは…デミングサークルの展開、小グループごとのサミットの開催へと進める。→活性化へ(地域の)

・集落を中央部にまとめ、質を維持しておだやかに暮らす。策を労し過ぎないこと。

・集落の今後を考え、引っ張っていくリーダーが必要。集落全体に活気がないので若者が働ける職場や魅力あるものが必要と思う。

・若い人が農業に関心がないので、農業の良さを知ってもらう環境づくりが必要と思う。

・急速な農業従事者の高齢化で担い手の確保が急務だと考えています。

・経営の効率化をはかるため、圃場整備を推進することが重要だと考えます。(農業従事者が減る中で、作付けを維持するには)

・より環境に配慮した農業に取り組み、消費者に安定して食べてもらうことが出来る農作物を提供することで、ブランドイメージを高めていくことが必要と思う。

・耕作放棄地の解消

・村、土地改良区の連携と充実を望む

・以前より話し合ったり考えている部分で、稲作以外の作物で当該地域でも取り組めるものがあればやれたら良いと考えをめぐらせてます。近年雪も多く降らないので、ハウスでも…

・村道、上野新〜小和田の舗装整備と、農道、上新保〜小和田の6m舗装工事整備を早めをお願いします。

・人口減少に歯止めがかからないまま、将来の人材育成、維持は困難だと思う。企業、会社組織での営農が理想的と思います。

・農協の合併が進むようですが、役場ではどの程度把握してますか？また、関川村ではどのようなバックアップを考えているか。

・農作物被害の現状、関川村の対策

・集落の実態把握と将来の展望のためのアンケートを実施していただき感謝いたします。現在、集落内の農道草刈、砂利敷等の共同作業で農業多面的機能交付金が貴重な財源と関係者の原動力になっています。この制度の維持と今後集落内で農業や農村環境を守っていくための話し合う機会を定期的に行えるような仕組み(予算書)を検討いただきたい。

・鳥獣被害が年々増加し耕作放棄地の増加に拍車をかける中、近隣地区(市)県、国と協議しながら、本格的な駆除(殺処分含む)が急務ではないかと思う。

また、森林組合、環境省とも協議し国有林や自然(国立)公園内、奥山(民地含む)への雑木(栗、ナラ、ブナ、クルミなど実のなる)植林の促進など鳥獣たちの生活に配慮した生息環境整備も重要ではないかと考えます。

・低コスト稲作推進のため、基盤整備をもっと進めて欲しい。

・南中集落は、今後10年後は今の体制で維持出来るそうですが、その先の事を今から検討しに行く必要はあると思います。

・女川左岸の圃場整備、担い手が受ける体制になっているが、現在は出来ても5年後は？やはり高齢になり、外部から受け入れざるを得ない。償還金に関して耕作者が限定されることになり、今現在、集約できない集落があると聞きますが、担い手でなくても耕作が出来る農家であればやむを得ないかなと、工事費は安くならないのは仕方ないかなと。(当初、担い手が耕作することで、女川左岸の工事が始まったことは承知してます)

・猿が多くなり、農作物被害が多くなった。山にヒルが多くて行けない。

・農地(水稻)の集約化を早急に進めてもらいたい。

・現状維持(発展)を図るためには、用水路を含めた圃場整備が必要だと思う。

・稲作にこだわることをない多角的な農業を考える。現農業者の意識改革と手助け(指導・補助など)が必要。

・私も耕作放棄地の脇に2〜3ヶ所あります。草刈が大変ですので、解消策に努めてください。

・農地の基盤整備を早急に。実現しなければ集落の農地は維持できなく、耕作放棄地が増加してくることが予想されます。将来の地域農業について、前向きな議論を地区営農委員会で話し合ってもらいたいと思います。

・高齢化、過疎化、鳥獣対策等問題が多く平場より不利なことが多い。水が綺麗だから作物が高く売れるとか付加価値がないと後継者は育たないと思います。

・各平から移動しなくていい農業にする。持ち主が複数いても代表が一括して耕作する。手が足りなければ除草とかシルバーに頼む。

・現在委託を受けている農業者も高齢化してきている。農業者の負担軽減のためにも基盤整備は必須であるが、整備費用の負担の面で進んでいない。国県村の補助と反対者の説得にも積極的に関わって頂きたい。

・年齢が年齢なので希望はありません。

・圃場の整備をすることにより、現在の作付面積より拡大することができると思う。また、改良区加入により施設、構造物などの管理が一段と充実する。集落単位ではなく、地域全体で考えるべきである。

・クマ対策の同様資格者の動物、野帳に睡眠薬射撃をお願いしたいと思います。(犬、猫の同様→手術対策)

★追い払うは倍に来ます。追い払われた群れは他の市町村に向かいどこから来たか予想も出来ず。

★群れが増える対策は何より難しいと思いますが人も生きてます。

・小規模でもよい。圃場整備の必要がある。実現できることを要望。

・農協に頼らない。米の販路が必要である。米を高く売れるよう付加価値を見出せないのか？

・直売所等、販売に力を入れてもらいたい。

・耕作放棄地等を行政主導による解消対策プロジェクトの立ち上げ等

・年寄りが精魂尽くして作った作物が猿の被害に合い夢も希望もなくなる。電気柵で囲っても入られる。

・令和2年より田んぼは作らないことにしました。

・集落内での人材確保と農業維持等は難しい。集落内に担い手は居なく、水田の面積(一枚毎)が小さい。そして、圃場整備されていないため集落外から人材確保も難しいと思います。

・山間地の放棄地が一箇所にまとまってあれば良いのですが、あちこちにあるのでそこに大金を投入してやる価値がないと思います。